

地域防災支援員の 「今日からやろう」 防災力UP



むらやま りゅういち
村山 隆一

1964年3月生まれ、白糠町出身。1982年5月、釧路西部消防組合消防署に消防士として奉職。2022年4月、釧路市西消防署白糠支署長に就任。心理相談員や産業カウンセラーなどの資格を所有。好きな食べ物はカレーライス。

No.11 津波から命を守ったあとの「次の一歩」

～カードの重要性～

避難場所に着いたら、まず「受付」を！

津波から命を守るため、高台（避難場所）へたどり着いてまずは安心。しかし、避難はそこで終わりはありません。

避難場所に着いて最初に行うべき重要なこと、それが「避難者情報カード（以下「カード」）」による受付です。

■なぜカードが必要なの？

カードは皆さんに配る食べ物、飲み物や必要な支援を、町が設置する災害対策本部（以下「対策本部」）が正しく準備するために欠かせないものです。

・誰がどこにいるか分かります

対策本部が、「どこに、何人が避難しているか」を正確に把握するための大切な情報になります。

・家族の安心につながります

「あの子は無事かな？」と心配している家族に、皆さんの無事を早く伝えるための助けになります。

■避難所は、みんなで助け合って運営します

避難所や避難場所の運営は、町職員だけではなく、そこに避難した皆さんが協力して行うものです。

・町内会「ごと」にまとまるのが一番！

受付では、お互いに顔がわかる「町内会（ご近所さん）」ごとに情報をまとめることが、一番早くて確実です。

・みんなで手伝いましょう

「誰かがやってくれる」ではなく、お互いに声を掛け合い、町内会ごとにまとまってカードを提出・集計することで、漏れのない確実な支援体制が築けます。

■皆さんへのお願い

今後、防災講話や研修会などいろいろな機会に「カード」をお届けします。

・【すぐ、書いてください】

災害が起きてから書くのは大変です。あらかじめ家族全員分を記入して、一人一人の避難リュックの中に入れておきましょう。

・【待ち時間を減らせます】

自宅でカードを書いておけば、受付で渡すだけで済みます。寒い中、受付で長く並んだり、慌てたりしなくてよくなります。

・【受付へ出してください】

避難場所に着いたら、可能な限り町内会ごとにまとめて、受付へカードを出してください。



・【カードを忘れたら】
もしカードを家に忘れたり、失くしたりした場合、避難場所にも予備のカードを用意しています。その場で書いて提出してください。

△白糠町からのお約束

皆さんに書いていただいた個人情報、皆さんを助けるためや、安否を確認するためだけに大切に使用させていただきます。ご協力をよろしくお願いいたします。

避難者情報カードの記入例

【名前】 防災 カ 【町内会】 春日 【津波避難場所】 隣の森東山公園	【状況別アクション】 ▲津波：揺れたらすぐ高台へ！ ★地震：火の元確認、出口確保。 ☀大雨：浸水前に避難所へ。 ▲土砂：崖の反対側、上の階へ。 【避難の心得】 ・避難リュックを背負う。 ・隣近所に声をかける。 ・マイナナンバーカードを持つ。
【生年月日】 西暦1900年 0月 0日 【配慮事項】 □介助必要 <input checked="" type="checkbox"/> 持病あり □妊娠中 □アレルギー（食・薬） □ペット有	【現在の体調】 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 □発熱 □咳 □その他 ・避難の際に足にけがをした
【住所】 白糠町西1条南1丁目1-1	【その他留意事項】 ・家族とは離れた ・処方薬を持ってきていない
【性別】 <input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女 【血液型】 B型 (+)	【災害確認】 災害用伝言ダイヤル：171（1で録音 / 2で再生）
【もしものときの連絡先】 関係と電話 【関係】（息子）【電話】 090-3965-9300 【世帯主の名前】 防災 助 【家族】 4人	【メモ欄】（注意事項など） ・持病の薬をもっていく・徒歩で避難する ・避難場所についてら受付にこのカードを渡す

「避難時に対応しなくては」と思うことは忘れずにメモしておきましょう。

避難したあとに必要な事項を記入してください。

防災マップWeb版
https://www.town.shiranu
ka.jp/kurashi/bousai